

風の松原で能代第一中学校1年生がクロマツを植樹

令和4年10月6日、風の松原において能代第一中学校の1年生48名がクロマツの植樹を行いました。

この植樹は、同校の1年生が総合学習の一環で「風の松原」について学んでいることをきっかけに昨年から始まったもので、今年が2回目となります。当署からは7名が参加し、植樹をサポートしました。

はじめに、風の松原陸上競技場で行われた開会式では、佐藤校長先生から保全植樹の経緯等についてお話があり、続いて、生徒の工藤さんが「私たちの植えたク



【佐藤校長先生の挨拶】

ロマツが能代を守ってくれるよう心を込めて植えましょう」と挨拶。続いて、当署の大澤森林整備官が「風の松原の役割と松くい虫被害」について説明した後、600mほど離れた植樹場所へ移動しました。

【開会式】

今年の植樹場所は、昨年植樹した場所に隣接する約10m四方の範囲。まずは、昨年のクロマツが順調に育っているのを確認した後、育成担当の武田職員がディンプルを使って穴を掘り植付までのお手本を示し、その後、一斉に作業に取りかかりました。

生徒達は、はじめのうちディンプルの使い方に慣れず、うまく穴を掘ることができませんでしたが、慣れるにしたがってきちんと穴を掘り、苗木を入れて、しっかりと踏み固めを行うようになり、全体で100本の苗木を



【大澤森林整備官による風の松原の説明】



【生徒たちも真剣に学習】

植樹しました。植樹終了後には、標柱を立て、クラスごとに記念撮影を行いました。

再び陸上競技場に戻って行った閉会式では、鈴木次長（能代森林事務所森林官事務取扱）が「この松原を大切にするとともに、今日の植樹を胸に刻んでクロマツの生長と関わってほしい」と挨拶。最後に、生徒の成田さんから感想とお礼のことばが述べられ、植樹を終了しました。



【みんなで植付開始】



【植樹後は笑顔で記念撮影】



【100本を植えました】



【武田職員の植付指導】



【穴掘りはたいへん】



【しっかり育ちますように】